

教科名（ 保健体育 ）

1 生徒の現状分析

観 点	分 析 内 容
知識・技能	・基礎的、基本的な技能の習得や用具の操作など、各学年に応じた技能を身につけている。 ・各種目の特性や細かなルールなどの知識の定着に課題がみられる。 ・仲間からアドバイスを受けながら粘り強く練習に取り組み、一つ一つ着実に技能を習得している。
思考・判断・表現	・動画撮影による自己分析等 ICT 機器を効果的に活用し、自己理解を深めるとともに、仲間同士で動作の確認や課題を明確化することができている。 ・課題解決に向け積極的な話し合い活動に取り組むことができている。 ・相互に教え合ったり作戦を考え実行したりするなどの活動に積極的に取り組み、チームや個人の能力に応じた課題解決ができることを目指している。
主体的に学習に取り組む態度	・自己の課題に則した練習方法を選択するとともに、種目の特性に応じた楽しみや喜びを味わうことができている。 ・安全に配慮した運動の行い方についてよく理解し、他者と協力しながら安全及びルールに則った体育の学習ができている。 ・競技審判などの役割を仲間と分担して行い、公正・公平な競技進行となるよう主体的に取り組むことができる。

2 指導方法の課題分析

- (1) 主体的な活動へつながる具体的な練習方法の提示。
- (2) 技能習得のための効果的な ICT 機器の活用。
- (3) 習熟の程度に応じた課題設定につながる振り返りの充実。
- (4) 課題解決のための教え合いや話し合いの機会の充実。

3 授業改善に向けての方策

- (1) 主体的な取り組みを推進させるために、運動やスポーツにおける特性や練習方法における「ねらい」や「ポイント」への理解を深めるため導入において課題を明確化させる。
- (2) ICT への記録の蓄積、学習カードにおける自己の振り返りを積極的に行い、生徒自らが自己の課題に応じた学習活動が行えるよう学習の場や練習方法を提示する。
- (3) 自己評価及び授業の振り返りを充実させ、習熟の段階ごとに目標を設定し技能の定着を図る。
- (4) 動画撮影やお手本との比較など ICT 機器の活用により、互いの動きや取り組みを確認し合い、認め合いの機会を設け、主体的で対話的な深い学びを促進する。

4 その他

- (1) 新体力テストの結果から、自己の体力や運動能力の変化に着目させ、主体的に運動に取り組もうとする態度を養う。
- (2) 新体力テストの結果を基に運動の特性を理解させ、部活動など様々なスポーツに活用できることに気づかせ、成長期における身体能力の向上を目指す。
- (3) オリンピック・パラリンピックの歴史や競技特性のみならず、オリンピックムーブメントへの理解を深めるとともに、豊かな国際感覚を育む。